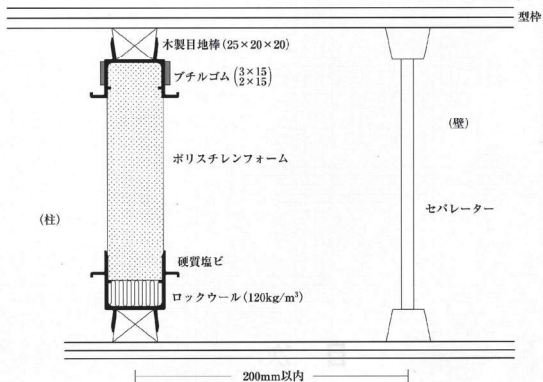


# 耐震スリット

## 垂直完全スリット

### ●EWR型（自立タイプ）



寸法	25mm・30mm・35mm・40mm
W寸法	壁厚（ふかし含む）をご指示下さい。W110～W400
定尺	L-2000mm・L-2250mm（40mm=L-2000mmのみ）

タイプ	耐火タイプ		非耐火タイプ	
品名	EWR-25A	EWR-25B	EW-25A	EW-25B
	EWR-30A	EWR-30B	EW-30A	EW-30B
	EWR-25A		EW-25A	
	EWR-30A		EW-30A	

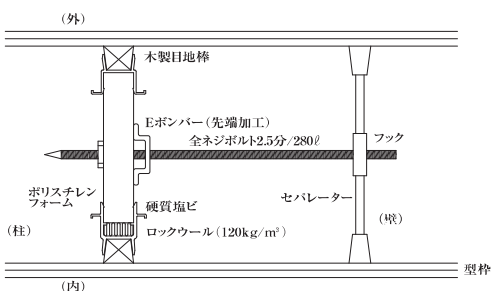
  

【新規格】EWR-25SA（耐火）は、目地棒20×20×15使用、コーキング部最小タイプです。  
\*補強金具との併用をおすすめします。

### 目地棒使用可能サイズ

EWR-25SA	EWR-25・30・35		EWR-40
20×20×15	25×20×20	25×25×20	30×25×25

### ●補強金具Eボンバー



取付補強金具:Eボンバー使用  
L-2000(1本当たり4個以上)、L-2250(1本当たり5個以上)

- 2時間耐火加熱試験合格 (ISO規格)
- 遮音性能Dr-55 (壁厚180において)
- 都市再生機構判定基準合格
- 評価書取得 (品質適合証第CCT0028-2号)

### ※注意事項

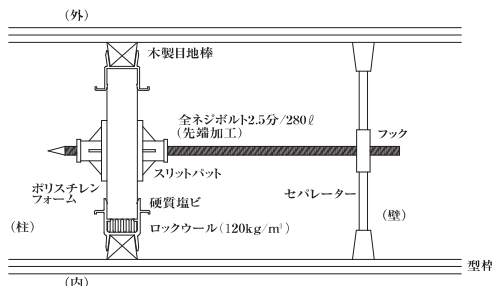
- 木製目地棒 (25×20×20又は25×25×20/両面テーパ) を必ずご使用下さい。(EWR-25SAは、20×20×15)
- 木製目地棒は、型枠に丸釘 (N45以上) にて200mmピッチ以内で打ち付けて下さい。
- 目地無しタイプは、内部の返し型枠にE型キャップをポリ釘L45 (別売) で打ち付けて下さい。
- セパレーターはスリット本体から200mm以内の位置で下から200mmに1カ所、そこから400mmピッチ以内で取り付けて下さい。但し、腰壁等の側圧の大きいと思われる箇所は、捨てセパレーターの間隔を狭めて下さい。
- コンクリート打設は、片押しにならないようにゆっくり均等に (1m程) 打設して下さい。又、パイプレーターが直接スリット材にあたらないように注意してください。

### ●注文指示要領

- タイプ : 耐火・非耐火、Aタイプ・Bタイプかをご指示下さい。
- スリットの厚み : スリットの厚み (幅) をご指示下さい。
- W寸法 : EWR型～壁厚 (ふかし含む) をご指示下さい。
- 長さ : L-2000・L-2250の2種類で、定尺出荷です。本数をご指示下さい。
- 取付補強金具 : EWR型～壁厚が200mm以上のときは、補強金具Eボンバーをご使用ください。  
L-2000 (1本当たり4個以上)  
L-2250 (1本当たり5個以上)
- 防水 : コーキングのみでは不安がある場合は、二次防水としてプチルテープ (別途料金) をスリット材の外壁側の両脇に貼って出荷します。ご指示下さい。
- 鉄筋穴加工 : 通常、振れ止め筋は、D-10@400の場合、φ13又はφ15で下から200mm、そこから400mmピッチ穴加工 (別途料金) します。それ以外の穴径・ピッチも加工出来ますのでご指示ください。(現場にてドリル加工もできます。)
- ジョイント : EWR型～ジョイント部は目地棒をずらして施工して下さい。(最低100mmずらしてください。)

壁厚がW200以上の場合は補強金具をご使用下さい。

### ●補強金具スリットパット



Sサイズ (50φ)、Lサイズ (80φ)  
垂直完全スリット (金具付)  
L-2000 (1本当たり4個以上)、L-2250 (1本当たり5個以上)  
※両側使用時

- オプション
- 二次防水・再生プチルテープ (両面付) / 3×15mm, 2×15mm, 1×15mm
  - 鉄筋穴加工 (φ13～18mm) (@200～400) 通常は、D10@400程度
  - 振れ止め鉄筋 (全メッキ) / D10-L550mm, D10-L700mm, D13-L700mm